

焼津市版

子育ての知恵袋

焼津で

1,569人

子育て中のパパ・ママから、あなたへのエール！

1人で頑張らなくて、
いいんだよ！



オールやいづ★おっこプロジェクト

1 「生活習慣」(トイレの自立)について

《こんなとき どうしてですか?!》
おむつ外しをどのようにするか困っています。
何かよい知恵はありますか。

がんばりシール表を作って、トイレに座れたら好きなシールを自分で選んで貼ることで、モチベーションもあがりました。(4才・1才)

夏場はチャンス!!「おむつよりパンツが涼しいよ」と言うと、気持ちよさがわかったようです。(4才・3か月)

トイレの便座のふたに、かわいいシールを貼っています。
トイレに座ることを嫌がったときは「(シールの)〇〇ちゃんが呼んでるよ。会いに行くよ!」と声を掛けました。(7才・4才・2才)

トイレ屋さんをします。
トイレのドアの前で「いらっしゃいませ〜。トイレ屋さんで〜す!」
「今日はポイント2倍で〜す」と言って誘っています。(19才・7才・4才)

トイレでのおしっこに成功したらとにかくほめて、一緒に喜ぶようにしています。(4才・2才)



大好きなキャラクターのパンツがはきたくて、我が家の場合は一緒に買いに行きました。
パンツをはいている姿が「かっこいい〜」なんてほめていたら、あっけなくとれました。
(8才・5才・3才)



1才前の赤ちゃんのときから、親やきょうだい排泄するときに、一緒に行くようにしました。(4才・2才)

ある程度おしっこの感覚が開くようになってから始めます。最初はもらしちゃいます。それが当たり前、絶対に怒っちゃダメです。(15才・5才)

そのうち外れるだろうと思い、本人が気の向いたときやご機嫌のよいときに座る練習をしていました。(9才・8才・0才)

おむつ替えをトイレで行い、トイレは怖い場所ではないという雰囲気を作ります。(7才・4才)

【ちょこっとアドバイス】

トイレトレーニング(排泄の自立)は、おしっこが出ることを自分で分かる力(歩くことで発達する)の育ちが大切です。そして膀胱が一杯にならないと「おしっこ」と言わず、一杯になったら我慢するのが難しいことが特徴です。ですから、落ち着かない等のサインを見逃さず「出るかな?」と声をかけ、嫌がる時は無理強いしない・失敗しても怒らない・お友達と比較しないことが、とても大事ですね。

2 「生活習慣」(食)について

《こんなとき どうしていますか?!》

**偏食が多く、また食事に時間もかかり、困っています。
苦手なものでも食べる、食事が進むようになる方法はありませんか。**

お皿を変えて食事を出す工夫をしたり、海苔や野菜をかわいくカットしたりします。また、ご飯をただお茶わんに盛るのではなく、ふりかけを混ぜて、一口で入るくらいの小さいおにぎりを作って、お弁当に詰めたりシートを広げて部屋で遠足ごっこなどをやったりしながら、食事を楽しみました。
(6才・4才・2才)

苦手だったピーマンやネギは家庭菜園で育てて、子どもたちと収穫しています。
食事は育てるところから関わると、いいかもしれません。
(2才)

親が「おいしいね」と言って食べることが一番だと思います。(2才)

ご飯の前に何か食べていないか、おやつは適量かなども、大事だと思います。
(15才・5才)

子どもと買い物に行って、一緒に食材
選びをしたり、料理したりしました。
(6才・4才・1才)



お腹がすけば食べるので、苦手なものでも出し続けました。
(5才・2才)



親が食べるときの咀嚼音や音を聞かせると「パリパリいってるね」「シャキシャキするね」など、興味をもちました。
(4才・1才)

食事に時間がかかるなら、ほんの少量から始めます。食べきれたことをほめます。
(16才・16才・5才)

食事に時間がかかる場合は「この時間までに食べようね」と時間を意識させてはどうでしょうか。
(15才・5才)

「無理に食べさせなくていい。ただ食卓に出すことだけはやめないで。いつか自分で口にする時がある。そのときはいっぱいほめて」と聞いたので、好き嫌いも気にせず、長い目で見ています。
(10才・8才・5才・2才)

【ちょっとアドバイス】

味覚の発達は一生涯ものです。それには、子どもが

① 嫌いなものをおいしく食べている姿を見る ② ちょっとだけ舌に味を覚えておく ③ うま味調味料・甘味料が少なく、季節の食品に出会うことです。

いつか嫌いな食品とお友達になれる様「ちょっとだけ舐める」「一口食べる」経験を大事にしましょう。

3 「生活習慣」(睡眠)について



《こんなとき どうしていますか?!》
夜なかなか寝なくて困っています。
寝かすためにしている工夫などありますか。

寝る1時間前にはお風呂をすませ、布団の中で一緒に話をします。足の裏をマッサージすると、眠くなるようです。(4才)

とにかくテレビを消し、寝る前はゲームやユーチューブを見せないことにしています。また、少しずつ眠くなるように、絵本を読むことにしています。(6才・5才)

お風呂に入ってから寝るまでのルーティン(お風呂→歯みがき→絵本→電気を消す)を決めて、ぶれないようにします。上の子のときは、下の子が新生児だったためうまくいきませんでした。下の子のときは、この順番を絶対にしたら、成功しました。(6才・4才)

一緒に寝てしまう。これが一番です!家事なんかすべて「明日でもいいか」と投げ捨てて、子どもとゆっくり横になる。親がリラックスすると、子どももつられてリラックスし、自然に寝てしまいます。(4才・1才)

寝心地のよい環境を作ります。
例えば、エアコンをつけたり、好みの枕や布団に変えたりします。(12才・10才・5才)



親があせって子どもを無理に寝かせようとする、かえって寝ないと思います。部屋を暗くし、一緒に歌を歌うなどすると安心した気持ちになり、寝る雰囲気になります。(10才・2才)

小さいときから体内時計にしっかりとリズムを覚えさせて、夜眠くなるようにしました。リズムが狂っているときは、少しずつ朝起きる時間や、昼寝の時間を決まった時間にするようにしました。(2才・1才)

電気を暗くして、私と子どもでお話を作っていました。でたらめなお話ですが、交互に言葉を言っていきます。絵本を読むより母のでたらめな物語の方が、子どもたちは好きでした。(9才・7才・0才)

寝かしつける2時間前までに、入浴をすませます。体温が下がるときに眠りに入りやすいです。入浴2時間後に体温が下がるといわれています。(10才・4才)

朝早くカーテンを開け、目覚めをよくします。7時前に起こせば、夜早く眠くなります。(5才・3才・1才)

【ちょこっとアドバイス】

乳幼児期は、睡眠中に身体・精神発達の成長ホルモンが沢山分泌します。良質の睡眠を取る為には「光・暗闇・外あそび」をキーワードに、24時間で生活リズムの見直しをしていくといいです。

朝は、光を浴び、眠るときには、暗くして、日中は体を使って遊ぶことですね。寝る1時間前には、電子機器を止める等、たくさんの知恵を知って生活リズムをつけたいですね。

4 「人とのかかわり」(きょうだい)について

《こんなとき どうしていますか?!》
きょうだいげんかをしたとき、どのような対応をしていますか。

どちらが悪いと決めずに、お互いの言い分を伝え合うようにしています。取っ組み合いにならない限り、あまり干渉しません。

(7才・3才)

明らかに下の子が悪いときは「ちゃんと下の子も叱っているよ」というのがわかるように、上の子がいる前で叱ります。

(6才・1才)

きっかけをきちんと押さえ、平等に注意しています。「お姉ちゃんなんだから」は絶対に言いませんが、あとでこっそり「こうしてあげたらよかったねえ」と伝えています。

(4才・1才)

まず、話を聞くように気をつけています。

(4才・2才)

自分が嫌なことをされたら、どんな気持ちになるかを聞きます。

(4才・2才)

よいこと、悪いことはしっかり教えますが、思いっきりけんかすることもこの時期しかないことだと思うので、基本は見守ります。

(2才・1才)



行き過ぎた暴力にならない間は、見守ります。きょうだいだからこそけんかができるし、仲直りもできます。

(11才・8才・1才)



なるべく怒りを静めて、耳を傾けます。

自分の感情を言葉で表す貴重なトレーニングの機会だと思うので、否定しないように、最後に「どうすればよかった?」と意見を求めます。

(9才・6才)

なるべくきょうだいで解決するように、何が原因でけんかになったかを聞きます。そして、これからどうすればいいのかを話し合います。でも、またすぐけんかをするので…その繰り返しです。

(9才・8才・0才)

片方だけ叱ることはしません。

子ども同士のやり取りに大人が割り込まないようにします。ただ、子どもが話をしてきたら、それぞれの言い分をちゃんと聞いてあげます。

(8才・3才・1才)

【ちょこっとアドバイス】

きょう代いは、一番身近な『他人』ですね。でも、一緒に時間が多から「一番甘え易い」関係です。ですから、ケンカになれば、甘えも入って、ややこしくなるのは、目に浮かびます。

日ごろから、比べず、ケンカになったらそれぞれの意見を聞き、他者理解の学びのチャンスにすると、いいですね。

5 「人とのかわり」（親子）について

《こんなとき どうしていますか？！》

お子さんがだだをこねたとき、どのように対応していますか。

おもちゃなどの場合は、別の道を通ったり、公園で遊んだり「今日はお金がないからまた今度」とか「今度サンタさんにおねがいしようか？」と言ったりして、気持ちを他に向けるようにしています。（5才）

4才のお兄ちゃんは上手に話ができるので「なぜだだをこねているのか」「どうしてほしかったのか」話を聞きます。すると、落ち着いてきます。（うまくいく時ばかりではありませんが・・・）（4才・1才）

乳児なら、好きな歌を歌ってあげたり、興味を持ちそうなことや物を用意したりして、気をそらします。（11才・5才）

とりあえず、話を聞いて受け入れます。
子どもが我慢してくれたら「ありがとう」と伝えます。（8才・7才・5才・2才）

気が済むまでしばらくぐずぐずさせておきます。少し落ち着いてから「～したかった？」「～してみる？」と提案します。（1才）

抱きしめたり抱っこしたりします。
子どもが落ち着いたら、話を聞いてあげるようにしています。（3才・0才）



イヤイヤのときは、危険がなく自分に余裕があればとことんつき合っていました。お店で寝転がったときには「他の人の迷惑になるから、ここではやらないよ」「もう連れてこないよ」などと静かに話し、それでも聞かないときだけ力づくで動かしていました。

今は、それでどうしたらいいのか、言葉で言ってほしいと伝えています。なるべく、言葉で伝えるメリットを感じてもらおうようにしています。（7才・5才）

子どもの気持ちや思いをしっかり聞きます。受け止めますが、よくない行動は、一歩も譲らないようにしています。
大泣きする子にも負けられないことが大切です。（2才）

「～して！」ではなく「～できる？」と聞いて、自ら決めた約束を守ってもらい、おしまいになっています。我慢できたらほめます。（3才・0才）

まずは気持ちに共感します。
場所を変えて、2人きりになったところで落ち着いて話します。（6才・4才・0才）



【ちょこっとアドバイス】

だだこねをしたら、プロの保育者でも難しい！ですね。だだこねは「やりたいことが分かる」大切な力が育ち、「大人の言う通りになりたくない」心の育ちで、言い換えると独立宣言！とも言えます。

こんな時は、あの手この手の知恵を集めてこの時期を乗り越えることが大切です。ぜひ子育ての知恵を参考にしてみてくださいね。

6 「遊び」について

《こんなとき どうしていますか?!》

お子さんと一緒のとき、どんなことをして過ごしますか。

いろんな公園に行き、一緒に砂遊びをしたり、おにごっこ、ぶらんこなどをしたりします。(8才・5才・3才)

保育園でやっている遊びを、家では主役になれるので、子ども主体でやります。(4才・2才・0才)

歩き始めたころから、ほぼ毎日散歩に行きます。車や建物、草花や動物など、いろいろなものを見て楽しんでいます。(2才)

天気の良い日は公園へ行き、子どもと一緒に遊具に上ったり、自然観察したり、海へ行ったりしています。お金のかからない外遊びを楽しんでいます。(2才)

一緒に料理をしたり、洗濯物をたたんだり、お手伝いをたくさんしてもらいます。(3才・0才)



時々電車やバスに乗ります。(特別感がとても楽しいです♪)

(5才・2才)

雨の日は、家の中で宝探しや探偵ごっこなどをしています。謎解きが好きです。(7才・4才)

本を読んだり、おままごとをしたりと、子どものしたいことに付き合います。(3才・0才)

家にあるもの(トイレットペーパーの芯やお菓子の空き箱など)で貼り絵をしたり、はさみで切って何かを作ったりと、手作りおもちゃにはまっています。(3才・0才)

休日は家族で公園に出かけたり、買い物に行ったりします。上の子2人を旦那に任せて、下の子とのんびりすることもあります。(7才・4才・1才)

【ちょっとアドバイス】

特別なことをしなくても、子どもは一緒にいるだけで嬉しいですね。乳児なら、子どもの笑顔が出ていることを真似して一緒にやるだけで遊びになります。幼児で余裕がある時には、子どもの〇〇したい気持ちを大事に、お家ならではの遊びがいいですね。

何より、一緒に遊び、子どもの楽しさを体感して、親の喜びを感じてくださいね。

7 「絵本」について

《こんなとき どうしていますか?!》

絵本を読んでいるとき、どんな楽しさ（お母さんやお父さんの思い、お子さんの反応など）を感じますか。

どんな場面、どんな言葉に反応して喜んでいるのか、その子なりの楽しみ方を発見すると楽しいです。
(7才・5才・2才)

大人と違う目線で見るので、1ページの中に“なんで？”をたくさん見つけてくれます。少ないページ数の絵本でも、長く読めます。また、絵をよく見るようになりました。
(4才)

絵本は何回も何回も「読んで」と言うので、こういう内容が好きなんだなあと、子どもの好みがわかってとても楽しいです。
(4才)

上の子が下の子に読み聞かせしていると、ほっこりします。
まだ字が読めない時期に、絵本をめぐりながら独自のお話を作っていたのを見て感動しました。
(9才・5才・2才)

同じものを見て同じ気持ちになって、感じられるのがいいことだと思います。

絵本を読んでいるときでも「あのときの絵本のお話さあ…」と、会話が增えます。親子で同じものを共有できることがいいことだと思います。

(9才・7才・4才・2才)



絵本を読んでいるときだけは、子どもと同じ時間を過ごしている実感がもてます。

また、子どもの発見を教えてもらえるうれしい時間でもあります。
(4才)



何度も読んだ本を、子どもが親に向けて読んでくれたときが楽しいです。
(4才・1才)

まるで絵本の世界を体験しているように、笑ったり驚いたりしています。読み終わった後の満足そうな顔を見ると、心が和みます。
(9才・5才)

小さいころから絵本が好きなので、私が楽しく読んでいると娘も楽しそうです。図書館で一緒に絵本を選ぶのも楽しいです。また、読んでいる途中で、子どもが脱線して話し始めるのも楽しいです。
(16才・3才)

昨日まで言えなかった言葉が、今日になって言えるようになることがうれしいです。テレビより絵本のほうが「〇〇だよ」「〇〇がいるね」など子どもが気づいたことを話す回数が多いと感じます。
(2才)

【ちょこっとアドバイス】

絵本は「想像性の発達や親子の触れ合いの時間」となりますが、他にも「子どものストレス軽減」「大人のストレス軽減」「意欲と好奇心が育つ」と脳科学者は言います。

忙しい中、よいことだらけの読み聞かせ！子どもをお膝にのせて、短い時間ですが「ギュっと濃密な時間」を楽しんでみませんか？

8 「ことば」について



《こんなとき どうしていますか?!》
どんな言葉をかけたとき、お子さんが元気
になったり、意欲がわいたりしますか。

失敗や残念に思うことがあったときに、共感する言葉や認めてあげる言
葉をかけるようにしています。 (3才)

人と比べないで、その子がやってきたことをほめてあげます。「見て!」
と言ってきたとき、後回しにしないでその場でよいところを伝えます。
(11才・9才・6才・3才)

ふとしたときに「大好きだよ」と言うと、にこにこ笑顔になります。子
どもも同じように返してくれます。あとは、たまにハグしています。やっ
ぱりうれしいみたいで、笑顔になります。 (5才・2才)

「～しちゃったら困るよ」などの否定的な言葉を使わず、「きっとでき
るよ」「きっと大丈夫」などの信じている言葉をなるべく使うようにして
います。 (7才・2才)

「やったあ」「タッチ」と言って手を挙
げたり手を出したりすると、喜びます。言
葉だけでなく、身体も使って表現するとい
いかもしれません。 (2才)



子どもでも手伝えそうなことで「誰か手伝って～」と言うと、手伝
ってくれます。

終わった後は、感謝すると「次もやるね」と言ってくれます。

(5才・3才)

「すごいね」「どうやってできたの？」など、成功するまでの道の
り・努力した点などを聞くようにしています。 (5才・2才)

子ども自身をほめる言葉よりも「ママうれしいなあ」など、私がう
れしいとか助かるといった言葉だとうれしそうです。

逆に、私が怒っているときや機嫌の悪いときは、すぐに感じ取るよ
うです。 (2才)

何かできたとき、つい「上手だね」と言っていたのですが、お絵かき
など少し苦手なことは「上手にできないからやらない」と言うように
…。それからは「頑張ったね」「たくさんできたね」などと言うと意欲
がわいて頑張るようになりました。 (4才・1才)

「見ているよ」は、青年になっても有効のような気がします。
やはり、大きくなっても気にかけているだけで、夢ややるべきことに
進めるのかなと思います。 (19才・17才・6才)

【ちょこっとアドバイス】

言葉は、子どもの気持ちを表しています。それがたった一つの単語で
あっても、気持ちには大人と同じくらいの豊かさが含まれています。まず
は「ほしいんだね」「やりたいんだね」「そう、思うんだね」等・子どもの心
に共感すること。トラブルなどは、その後大人の伝えたいことを「子ども
が分かる言葉」にして伝えるといいですね。

9 「大事にしていること」について

《こんなとき どうしていますか?!》

子育てをしていく上で、家族で大切にしていることを教えてください。

あいさつや感謝の気持ちを欠かさないようにしています。
人をお願いをするときは「○○してください」と丁寧な言い方を教えました。人に助けてもらうときも使える言葉だと思い、大切にしています。
(3才・0才)

子どもが悪いことをしたとき、怒るのは1人。
寄ってたかって怒ることがないようにしています。
(8才・4才・2才)

会話をつなげます。例えば「今日、幼稚園どうだった?」と聞かず「今日、幼稚園で一番楽しかったのは何?」と聞くようにしています。上の子のとき「どうだった?」と聞くと「別に」「普通」しか答えなかったけれど、聞き方を変えるだけで会話になりました。
(16才・3才)

イラッとするとき、自分の感情をぶつけないようにしています。一歩離れて自分の気持ちをコントロールしてから、向き合います。
(2才・0才)

子どもといるときは、なるべくスマホを触らないようにしています。(2才)

食事は家族全員で食べます。また、食事中はテレビをつけないようにしています。
(5才・2才)



家族で一緒に過ごす時間を取ることに、コミュニケーションをしっかり取ること、外で頑張ってきて帰ってきたら、ほっとする場所になるようにしています。
(5才)



いつもは家にいないパパも子育てに参加し、家族でいられるときは家事をちょっとおいて、お休みにします。そして皆で過ごす時間をできるだけ優先するように努めています。
子どもの前では、夫婦がお互いの悪口を言わないよう、気をつけています。
(2才)

家族が仲良くする。親の姿から多くのことを学んでいると思うので、まずは両親が助け合って思いやる姿を見せていきたいと思い、子育てをしてきました。
「ごめんなさい」「ありがとう」はもちろん、なるべく言葉にして気持ちを伝えるようにしています。
(4才・1才)

家族には「何でも言える」「いつも味方だよ」ということを伝えていきます。
(10才・4才)

【ちょこっとアドバイス】

「家庭教育とは、人間の最小単位の愛を教えるところ」という言葉があるように、一緒にいてほっとして、親も子どもも『自分らしくいられる』場所であつたら、子どもの笑顔ばかりか、大人の笑顔も溢れてきますね。
物を通してではなく、心が通い合うことを大事にしたいですね。

一人目のときは、「もっとこの子をこうさせなくちゃ!」という考えが強かったけれど、今にしてみると、もっとその子を受け入れてあげたかったな、という思いがあります。
(12才・10才・4才)

どうしても疲れを感じるときは、「一人きりの時間」を作っています。妻であること、親であることを一瞬忘れて肩の荷を下ろすとリフレッシュしてまた子育てが楽しく感じます。
(2才・0才)

最初は思い通りにならない育児にイライラしたり、ストレスがたまったりしましたが「何とかする」くらいのおおらかな気持ちで育児をしていると、親も子も楽になると思います。
(13才・10才・6才)

子育てに正解はないので、手探りで不安ですが、大人になったときに親から離れて自分らしく生きていけるようになってほしいなと思っています。
(9才・6才・4才)

子どもに、つい怒ってしまうことも多々あります。でも子どもの寝顔をみていると「明日も頑張ろう!」と思います。「こんな母ちゃんの所へ生まれてきてくれて、ありがとう」
(4才・2才・0才)

私が楽しく、元気に過ごせると、子どもに対してもゆとりをもって接することが出来ます。一番に自分をほめ、励ますことによりイライラも減少します。
(5才・3才)

今はネット社会で、情報がありすぎて母親自身も不安になってしまうような環境なのかな、と思います。母親も1人の人間なので、つまずいたり悩んだりします。まずは自分で自分を受け入れるようにしています。
(4才・1才)

子どもとずっと接していると、こちらも「どうにもならない!」ということも出てきます。近所の方・友人・先生・習いごとの先生...など、周りの方に相談すると「うちだけじゃないんだなあ」と、少しホッとします。
(12才・6才・4才)

育児は常に悩みと背中合わせです。子どもの性格も十人十色で、育児本を読んでみても我が子には合わないなど、日々悩みは尽きません。
(7才・4才)

「いいお母さんになろう」と気負わず、毎日子どものことが大好きでいられたらいいな。子育ては予測不能で、思い通りにいかないことばかりです。笑ってしまうくらい楽しい毎日です。
(10才・9才・5才)

子育てを自分一人でやろうと思ったら、それは大変です。パパ・じいじ・ばあば・先生・近所の人・友達など周りの人を巻き込んで子育てできていることに感謝します。
(10才・4才)

一人で頑張らなくて、
いいんだよ!!



子育て応援します！

焼津幼稚園(相愛学園)	焼津5-4-2	628-2851
新屋幼稚園(常盤学園)	本町1-1-10	628-3895
西町幼稚園(常盤学園)	大村1-12	629-3277
小川幼稚園(寶城学園)	東小川6-21-4	629-2188
みなと幼稚園(千代学園)	中港1-7-23	628-2736
焼津豊田幼稚園(相愛学園)	小土1059-1	628-4004
みやじま幼稚園(千代学園)	三ヶ名807-1	628-9084
焼津中央幼稚園(齋藤学園)	西小川1-2-14	628-9612
まどか幼稚園(まどか学園)	田尻北1223-2	624-6415
三和幼稚園(頌徳学園)	三和614-2	624-0046
すみれ台幼稚園(まどか学園)	すみれ台1-25-1	623-1545
焼津市立大富幼稚園	中根新田638	624-3668
焼津市立東益津幼稚園	石脇下791-2	628-0138
焼津市立さつき幼稚園	大覚寺3丁目5-1	627-3902
焼津市立静浜幼稚園	宗高88	622-0101
焼津市立静浜幼稚園下藤分園	下小杉1361	622-2147
焼津市立大井川西幼稚園	下江留2300-1	622-4187
焼津市立大井川南幼稚園	吉永334-2	622-5147
焼津南保育園※1	焼津5-13-14	629-0240
さくら保育園※2	北新田378-1	624-3073
なかよし保育園※3	西小川6-15-6	629-2525
たかくさ保育園※4	坂本449-2	629-5430
第三ゆりかご保育所※5	一色722	623-1551
ふたば保育園	小土79-1	628-5720
ゆりかご保育所	五ヶ堀之内759-1	629-3637
明星保育園	一色448	623-2727
なかよし大富保育園	中新田1148-1	623-2225
焼津市立小川保育園	東小川4-21-11	628-4349

※保育所と子育て支援センターが併設

焼津市立旭町保育園	駅北3-17-10	627-3232
焼津市立石津保育園	石津中町16-7	624-5839
焼津市立大井川保育園	下江留41	622-7420
常緑保育園	三ヶ名1175	629-4753
保育所きぼう東こがわ園	東小川6-8-13	626-8008
焼津のんのん保育園	柳新屋768-1	625-7978
Heart Link焼津保育園	焼津4-11-7	625-8989
保育所グローアップ石津園	石津558-2	639-5821
あいキッズランドしおつ園	塩津260-1	625-8395
保育所きぼう焼津こがわ園	西小川2-7-9 高橋プラザ1階	626-8819
小土のんのん保育園	小土300-5	631-6889
Heart Link西小川保育園	西小川5-2-1	639-9211
保育所ぶちはうす	西焼津14-14	620-2345
保育所グローアップ大富園	中新田1091-2	631-6715
Heart Link八幡保育園	八幡4-12-19	631-6856
Heart Link柳新屋保育園	柳新屋886-1	631-6521
八幡のんのん保育園	八幡4-17-14	629-1700
あいキッズランドやいづ園	塩津201-23	668-9580
COCORO 保育園	北新田396-1	637-9215
Little Walkers 焼津中央	西小川2-10-23	625-7575
もりのくまさん保育園	三ヶ名558-4	620-8070
(支援センター)みなみ※1	焼津5-13-14	293-7474
(支援センター)さくら※2	北新田378-1	656-0676
(支援センター)子育て広場なかよし※3	西小川6-15-6	620-0115
(支援センター)たかくさ※4	坂本449-2	629-5430
(支援センター)1・2・3(ワンツースリー)※5	一色722	623-1551
(支援センター)子育てサポートルーム	大覚寺3-2-2	627-2999
(支援センター)親子ふれあい広場	本町5-6-1	626-3388
(支援センター)とまどぴあ	宗高1205-1	662-2300

お気軽にどうぞ！



～オールやいづ★ねっこプロジェクト～

【平成30年度・令和元年度 課題検討部会】

上澤 紀代子・加藤 忍・木村 千香・櫻井 英世・平野 友紀子
前澤 和美・宮崎 恵子・村松 恵子・山口 佐枝子
静岡英和学院大学 特例教員 岡村 由紀子
事務局：焼津市こども未来部 保育・幼稚園課